

IV かわってきた湯川村

(1) 学校のうつりかわり

わたしたちの学校は、いつできたのでしょうか。学校には沿革誌えんかくしといって、学校の歴史れきしを書いた帳簿ちようぼがあります。学校の沿革誌をみると、わたしたちの学校がいつ、どこに、どのようにしてできたか、どのように変わってきたかがわかります。

湯川村には、笈川小学校・勝常小学校・湯川中学校の3つの学校がありますが、ここでは笈川小学校と勝常小学校のことを例れいにして、学校のうつりかわりを調べました。

明治のころの学校

わたしたちの学校は、約130年くらい前にお寺を借りてはじまりました。1873年(明治6年)に、笈川小学校は妙興寺みょうこうじを、勝常小学校は勝常寺を借りてはじまりました。その後、通学する人がふえ、せまくなったので勝常小学校は1885年(明治18年)、笈川小学校は1886年(明治19年)に新しくたてられました。

そのころの校舎は、土蔵どそうで、屋根はかやぶき、戸はしょうじ戸で、ござやむしろの上にすわり、つくえにむかって勉強しました。えん筆ではなく、筆ふでで書いていました。服ふでも今のわたしたちとはちがっていました。



みょうこうじ
妙興寺(明治6年5月3日創立)



しょうじょうじ
勝常寺(明治6年5月25日創立)